

平成18年12月5日公表

平成18年産水稻の収穫量（大分県） - 作況指数は79、収穫量は前年産に比べ14%減少 -

【調査結果の概要】

1 収穫量、作付面積

大分県における平成18年産水稻の収穫量は10万3,500tで前年産に比べ1万6,800t(14%)減少しました。

なお、作付面積(子実用)は2万6,200ha(対前年比100%)で前年産並みとなりました。

2 生育・被害概況

田植えは、麦の生育の遅れで刈取りが遅くなったほ場や高温障害回避のための遅植え地域があり、最盛期は平年に比べ、2日遅くなりました。

茎数は、遅植えに加え、梅雨明けが遅れたことによる日照不足が影響し、分けつが抑制され少なくなりました。

1穂当たりもみ数は、7月下旬以降の幼穂形成期に日照時間が多かったこともあり、やや多くなりました。

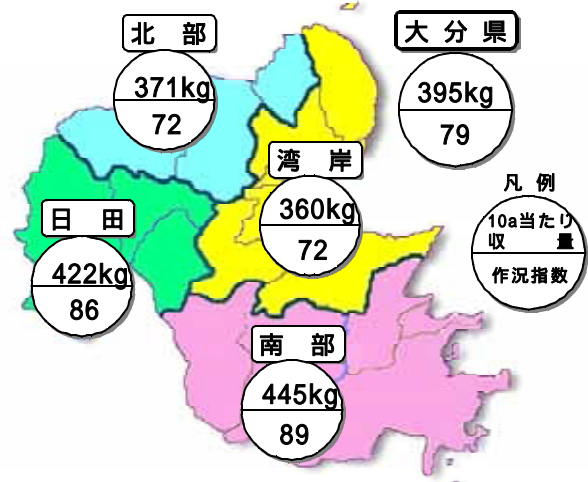
登熟は、出穂期以降、再び日照不足となり台風第13号のフェーン風(乾燥した高温風)とその後、極度に乾燥した天候が続いたため、大幅に抑制・阻害されました。

この結果、未熟粒・乳白粒の発生が多かったこと、加えて内穎褐変病・紋枯病・潮風害(一部地域)等の被害が発生したことなどから、10a当たり収量は395kgの作況指数79となりました。

地域別には、台風第13号等による未熟粒・乳白粒の発生が多かった北部、未熟粒・乳白粒・潮風害(一部地域)が発生した湾岸では作況指数は共に72、早期水稻や早生種のウエイトがやや高く、生育が進んでいた南部、日田ではそれぞれ89、86になりました。

登熟とは、開花、受精から成熟期までの子実の肥大、充実していくことをいい、もみ殻内の粒の大きさや被害発生状況などを総合して表す指標となっています。登熟の良否は、直接収量を支配するものであり、穂数、もみ数の多少と、土地条件、栄養状態、栽培技術、気象条件、病虫害などに影響されますが、特に気象条件、病虫害の与える影響が大きくなっています。

水稻の作柄表示地帯別
10a当たり収量及び作況指数



区分	作柄表示地帯に包括される市町村
北 部	中津市 豊後高田市 宇佐市
湾 岸	大分市 別府市 杵築市 由布市 国東市 姫島村 日出町
南 部	佐伯市 臼杵市 津久見市 竹田市 豊後大野市
日 田	日田市 九重町 玖珠町

この資料は大分農政事務所ホームページ【<http://www.oita.info.maff.go.jp>】でご覧になれます。
この統計調査における調査目的、調査対象などの調査仕様は、【調査の仕様】9Pに掲載しています。

【統計表】

1 平成18年産水稻の収穫量（作柄表示地帯別）

作柄表示地帯	作付面積	10a当たり 収 量	10a当たり 平年収量	作況指数	収穫量	前年産との比較					
						作付面積		10a当たり収量		収穫量	
						対差	対比	対差	対比	対差	対比
	ha	kg	kg		t	ha	%	kg	%	t	%
大分県	26 200	395	503	79	103 500	0	100	64	86	16 800	86
北 部	7 660	371	517	72	28 400	250	97	82	82	7 400	79
湾 岸	7 860	360	500	72	28 300	190	102	91	80	6 300	82
南 部	7 620	445	498	89	33 900	40	101	14	97	900	97
日 田	3 030	422	490	86	12 800	10	100	71	86	2 200	85

作付面積は、青刈り用を除いた子実用の作付面積です。

作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率です。

10a当たり平年収量とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

統計表は、ラウンドにより一致しない場合があります。

湾岸の作付面積の増加は地帯をまたがる市町村合併（杵築市大田）が行われたことにより「旧北部の大田村」を湾岸に編入したためです。

陸稲の収穫量は作付面積が1ha未満のため、掲載を省略しました。

2 平成18年産水稻の主な被害面積及び被害量（大分県）

被害種類	被害面積	被害量	構成比
			%
	ha	t	%
総 数	91 200	41 300	100
うち 気 象 被 害	45 200	32 000	78
風 水 害	18 800	16 300	39
干 害	200	10	0
日 照 不 足	26 200	15 700	38
うち 病 害	30 600	7 930	19
い も ち 病	9 700	2 740	7
紋 枯 病	8 380	3 020	7
そ の 他	12 500	2 170	5
うち 虫 害	14 100	1 010	2
ウ ン カ	1 080	177	0
カ メ ム シ	1 010	76	0
そ の 他	12 000	754	2
うち そ の 他	1 270	328	1

被害面積の総数は、被害種類別面積の延べ数で、2種類以上の被害を受けた場合は重複して計上しています。

病害のその他は、内穎褐変病等です。

虫害のその他は、コブノメイガ等です。

被害面積とは、農作物に損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に取れ得ると見込まれる収量（被害なかりせば収量）から減収した面積をいいます。

被害量とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、被害なかりせば収量より減収した量をいいます。

【関連するデータ、情報】

参考1 平成18年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況及び10a当たり収量内訳
(作柄表示地帯別)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は農産物検査規格の3等以上の品位を有し、かつ、ふるい目幅1.70mm以上に選別された玄米の重量としています。
農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、ふるい目幅の重量割合とふるい目幅別10a当たり収量を示すと次のとおりです。

単位 { 重量割合：％
平均対差：ポイント

区分 作柄表示地帯	合計	ふるい目幅					
		2.00mm	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
大分県							
重量割合	100.0	41.3	34.1	10.7	6.9	4.8	2.2
平均対差		14.8	5.4	3.4	3.5	1.6	0.9
北部							
重量割合	100.0	39.3	34.9	10.5	9.0	3.9	2.4
平均対差		14.7	4.7	2.7	6.0	0.2	1.1
湾岸							
重量割合	100.0	25.0	39.9	14.6	10.0	7.4	3.1
平均対差		24.1	7.8	6.0	5.4	3.6	1.3
南部							
重量割合	100.0	46.7	33.6	9.4	4.7	4.0	1.6
平均対差		13.8	7.1	3.2	1.5	1.4	0.6
日田							
重量割合	100.0	59.5	25.0	7.3	3.8	3.2	1.2
平均対差		5.4	1.5	1.6	1.0	0.9	0.4

単位：kg

区分 作柄表示地帯	10a当たり 収量 (1.7mm基準)	選別ふるい目幅別10a当たり収量					
		2.00mm	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
大分県	395	163	298	340	367	386	395
北部	371	146	275	314	348	362	371
湾岸	360	90	234	286	322	349	360
南部	445	208	357	399	420	438	445
日田	422	251	357	387	403	417	422

注1： 平均対差に用いた平均値は、直近5ヶ年の重量割合の平均値です。

注2： 選別ふるい目幅別10a当たり収量とは、表頭のふるい目幅を使用した際に得られる10a当たり収量のことです。

注3： 台風・高温障害等により未熟粒・被害粒の混入が多く農産物検査規格3等の品位に達しない場合は再選別を行っており、その選別後の値を含んでいます。

参考2 水稻の作柄表示地帯別生育期一覧表

作柄表示地帯	田 植 期				草丈の長短	茎数の多少	被害の多少
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の 平年遅速			
大分県	5月13日	6月11日	6月24日	2日遅い	平年並み	少ない	多い
北 部	5月18日	6月18日	6月28日	4日遅い	やや短い	少ない	多い
湾 岸	5月11日	6月15日	6月28日	2日遅い	平年並み	やや少ない	多い
南 部	5月5日	6月2日	6月20日	2日早い	長い	少ない	多い
日 田	5月20日	5月30日	6月13日	平年並み	長い	少ない	多い

作柄表示地帯	出 穂 期				穂揃いの良否	穂数の多少	1穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の 平年遅速				
大分県	7月30日	8月24日	8月31日	1日遅い	やや不良	少ない	やや多い	少ない
北 部	7月24日	8月26日	8月30日	平年並み	やや不良	少ない	やや多い	少ない
湾 岸	7月30日	8月27日	9月4日	1日遅い	不良	少ない	平年並み	少ない
南 部	8月1日	8月20日	8月30日	平年並み	平年並み	少ない	やや多い	やや少ない
日 田	8月5日	8月15日	8月22日	平年並み	やや不良	少ない	多い	やや少ない

作柄表示地帯	刈 取 期				登熟の良否	稔実の良否	粒肥大の良否	粒充実の良否
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の 平年遅速				
大分県	9月14日	10月14日	10月24日	1日早い	不良	不良	やや不良	不良
北 部	9月16日	10月19日	10月28日	2日遅い	不良	不良	やや不良	不良
湾 岸	9月13日	10月15日	10月28日	平年並み	不良	不良	やや不良	不良
南 部	9月9日	10月11日	10月17日	1日早い	不良	不良	やや不良	やや不良
日 田	9月19日	9月30日	10月21日	4日早い	不良	不良	やや不良	やや不良

時期別の「始期」は面積割合が5%、「最盛期」は同50%、「終期」は同95%に達した期日です。

「穂数の多少」は、1㎡当たりに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。

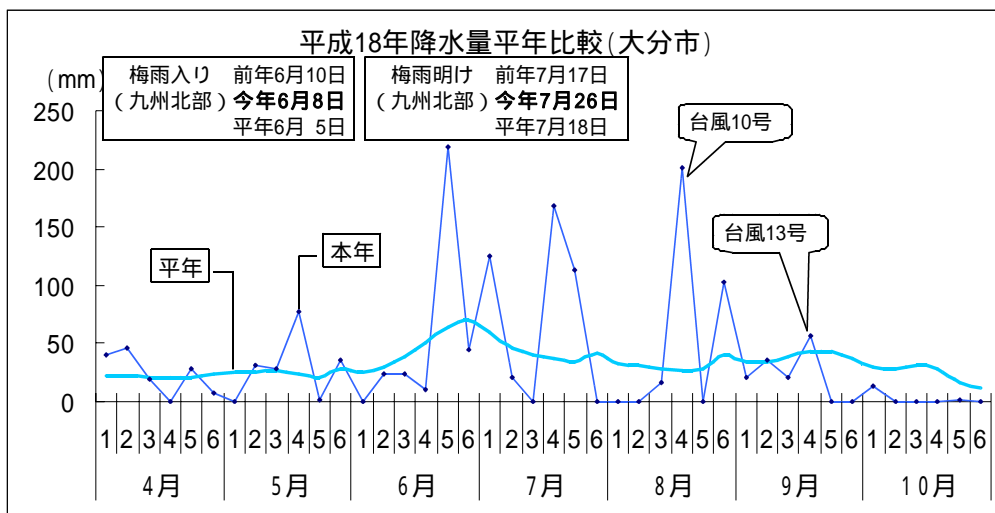
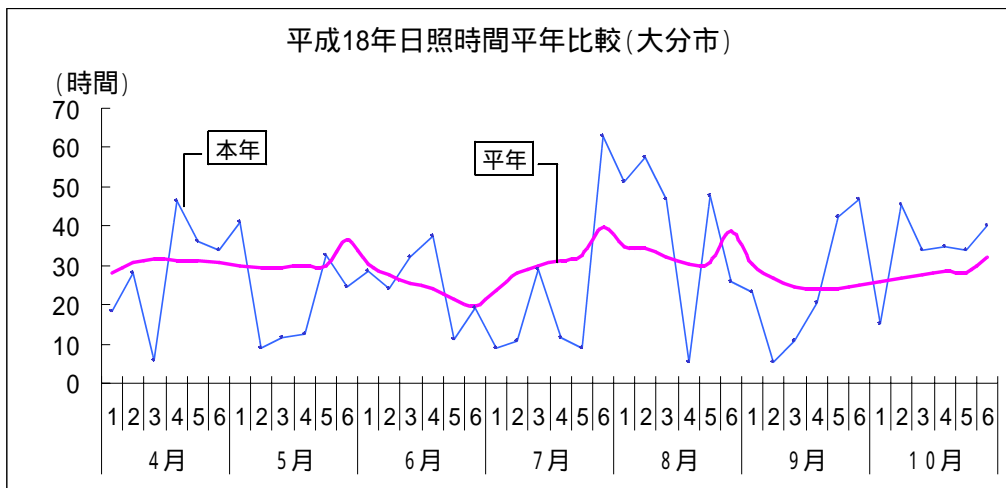
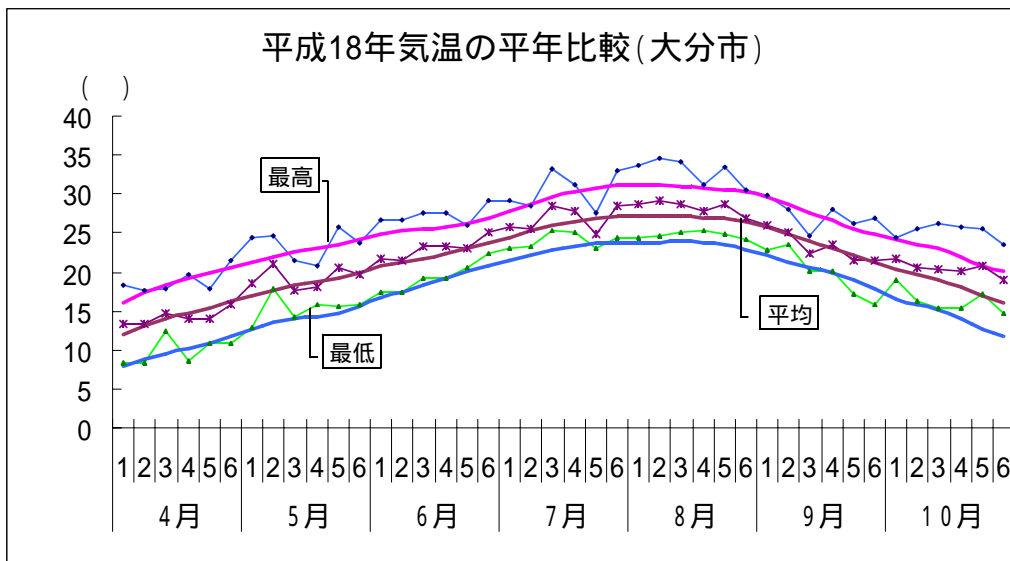
上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較です。

多少(良否)	少ない(不良)	やや少ない(やや不良)	平年並み	やや多い(やや良)	多い(良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

参考3 累年統計表

年産	作付面積 ha	10a当たり 収 量 kg	収穫量 t	作況指数	10a当たり 平年収量 kg	主な要因
30	53 200	380	202 400	114	335	台風22,23号
31	53 300	320	170 600	96	335	台風9,12号
32	53 700	306	164 400	92	335	台風7,10号
33	53 300	373	198 900	112	333	大干ばつ
34	53 700	386	207 400	116	333	
35	54 000	362	195 600	104	349	
36	54 100	333	180 100	94	355	台風18号
37	54 100	384	207 900	108	355	
38	54 100	383	207 200	106	360	
39	53 800	386	207 500	105	367	台風20号
40	53 500	376	201 200	100	375	台風15,23,24号
41	53 300	382	203 600	102	375	台風13,19号
42	53 000	416	220 500	111	375	
43	53 000	404	214 100	105	385	
44	52 800	436	230 200	111	393	
45	47 600	387	184 200	96	404	いもち病
46	42 900	372	159 600	92	406	台風19,23号
47	42 400	460	195 000	113	406	
48	42 700	454	193 900	111	408	
49	45 700	436	199 300	104	418	
50	46 200	446	206 100	105	423	
51	45 900	406	186 400	94	432	台風17号
52	45 200	451	203 900	104	432	
53	41 100	472	194 000	107	440	
54	40 000	481	192 400	108	446	
55	38 700	357	138 200	79	452	異常低温、長雨
56	37 100	480	178 100	106	452	
57	37 000	421	155 800	92	458	日照不足
58	37 000	455	168 400	99	458	高温障害
59	37 300	490	182 800	107	458	
60	37 600	484	182 000	105	462	
61	37 000	482	178 300	103	466	
62	34 200	416	142 300	89	470	風水害、日照不足
63	33 400	468	156 300	100	470	風水害、日照不足
平.元	33 200	487	161 700	104	470	
2	32 700	461	150 700	98	472	水害、台風、高夜温
3	32 000	392	125 400	83	474	台風、天候不順
4	33 000	493	162 700	104	474	
5	33 800	367	124 000	77	474	冷夏長雨、台風
6	34 700	590	204 700	124	474	高温多照、少雨、干害
7	33 300	519	172 800	109	474	高温多照、少雨
8	30 800	492	151 500	104	474	
9	30 500	479	146 100	100	478	
10	28 200	499	140 700	104	478	
11	27 800	387	107 600	80	485	台風、日照不足
12	27 500	516	141 900	105	490	
13	26 800	512	137 200	104	490	
14	26 400	513	135 400	103	496	
15	26 100	485	126 600	97	498	長雨、日照不足
16	26 200	432	113 200	86	501	台風16,18,21,23号、日照不足、秋雨前線停滞
17	26 200	459	120 300	91	503	高温障害、台風14号、ウンカ

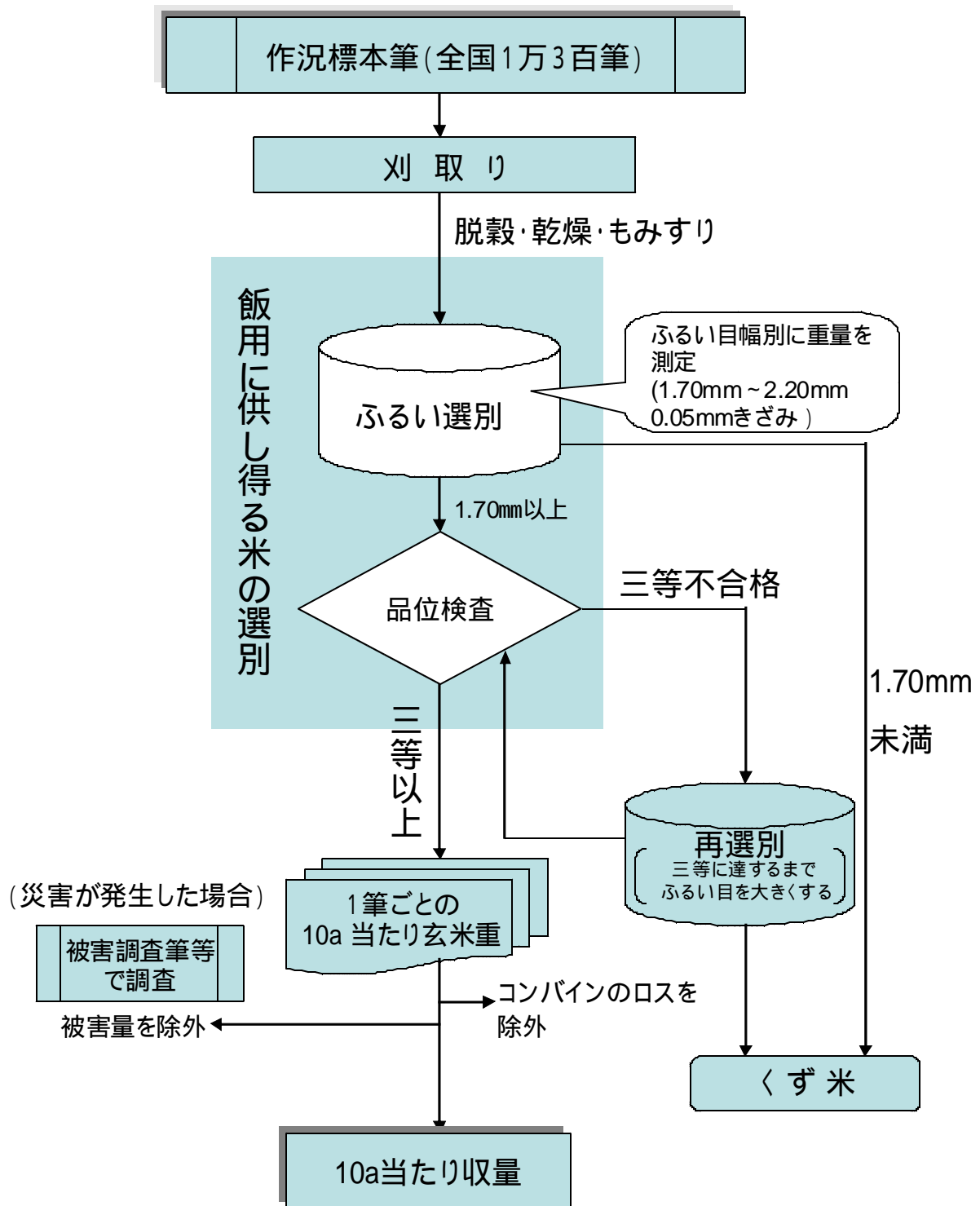
参考4 気象グラフ(大分市)



資料：大分地方気象台「アメダスデータ」

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考6】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程三等以上の品位を有し、かつ、粒厚が1.70mm以上となるように玄米の選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



作況標本筆^{ふで}とは

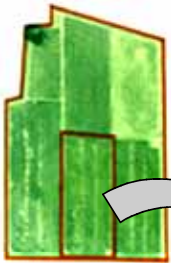
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆(1枚のほ場を筆と呼びます。)^{ふで}は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて以下のように各地で選定し(全国で約1万300筆)、調査している。

都道府県内の全耕地
(母集団)



都道府県ごとの耕地を、2 haの区画に区切った単位区の集まり(調査母集団)として整理し、その中の水田を含むものから、無作為抽出法(人間の恣意を排したくじ引きの様な選び方)により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(約 2 ha)



標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で約1万300筆)



各作況標本筆の対角線上の3カ所を実測調査カ所として、サンプル採取(坪刈り)を行っている。

【調査の仕様】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査のうち作付面積調査及び水稻調査に関する収穫量調査として実施し、水稻の作付面積及び作柄状況、収穫量を明らかにすることにより、生産対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としています。

2 調査の対象

大分県

3 調査期間

(1) 作付面積調査：7月15日現在

(2) 収穫量調査：収穫期

4 調査方法

(1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員による実測調査及び巡回・見積りにより取りまとめました。

(2) 収穫量調査

調査は、作況標本筆、基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査及び巡回・見積りにより取りまとめました。

5 調査客体数

(1) 作付面積調査

標本単位区：840単位区 巡回・見積もり：18市町村

(2) 収穫量調査

作況標本筆：185筆 作況基準筆：22筆 巡回・見積もり：18市町村

【統計表の見方】

統計数値については、下記の方法により四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないことがあります。

原 数	7けた以上 (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1 000)	3けた以下 (100)	
四捨五入するけた数 (下から)	3けた	2けた		1けた	四捨五入しない	
例	四捨五入する前	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した数値	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局大分農政事務所 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1・2係

TEL 097-532-6196 FAX 097-538-1820

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局大分農政事務所 統計部

統計企画課 企画係

TEL 097-532-6177 FAX 097-538-1820